

◎年末年始の各業務の取り扱い

業務内容			年末	年始
ごみ収集（環境衛生課）	もえるごみ	月・木収集	29 日(木)まで	5 日(木)から
		火・金収集	30 日(金)まで	6 日(金)から
		水・土収集	31 日(土)まで	4 日(木)から
	●もえないごみ・粗大ごみ ●資源ごみ（ペットボトル、プラスチック製容器包装、カン・ビン・小型金属類、古紙・古布）		第 1 月曜日（1 月 2 日）の収集は 12 月 29 日(木)に、第 1 火曜日（1 月 3 日）の収集は 12 月 30 日(金)に振り替えます。 ※上記収集日以外は年末年始も通常どおり収集します。	
	引っ越しなどに伴う臨時ごみ（有料）		28 日(木)まで	4 日(木)から
			※申し込みは希望日の 4 日前（土・日・祝日・年末年始を除く）までに環境衛生課へ。	
	ふれあい収集	水曜日収集地区	28 日(木)まで	4 日(木)から
木曜日収集地区		29 日(木)まで	5 日(木)から	
南河内環境事業組合 第 2 清掃工場への直接持ち込み（有料）		28 日(木)まで	4 日(木)から	
		※ごみを積載し、印鑑を持って午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分までに第 2 清掃工場へ。		

☆年末年始のごみ収集は平常時間より早くなる**ことがあります**。ご注意ください。

◎各施設の年末年始開館日

施設名	年末	年始
三日市窓口センター	26 日(月)まで	5 日(木)から
市民交流センター、公民館、くろまろ館、滝畑ふるさと文化財の森センター、市民総合体育館、岩湧の森 四季彩館、林業総合センター、日野コミュニティセンター、市民公益活動支援センター、三日市市民ホール、ノパティホール、消費生活センター、三日市情報コーナー、子ども・子育て総合センターあいつく（わくわく広場、ピーチルーム、ファミリー・サポート・センターは水曜日休館です）、子育て支援センターちよだだい、保育所、東部・中部・西部地域包括支援センター、保健センター、健康支援センター（ウェルネスフォレスト三日市）、資源選別作業所、衛生処理場	28 日(木)まで	4 日(木)から

業務内容	年末	年始
し尿くみ取り（環境衛生課）	定期のくみ取り	29 日(木)まで ※ 1 月 1 日～3 日の収集地域は年末に実施。
	臨時のくみ取り	28 日(木)まで 4 日(木)から
水道（水道料金センター）	修繕業務	無休。ただし、なるべく 28 日(木)正午までに連絡を。道路上などでの漏水は早急に水道料金センターへ。
	引っ越しなどに伴う開閉栓の届け出	28 日(木)まで 4 日(木)から
死亡したペットの収集 環境衛生課（有料）	30 日(金)まで	4 日(木)から
死亡したペットの持ち込み 市営斎場（有料）	30 日(金)まで	3 日(木)から
犬・猫の引き取り 府動物管理指導所藤井寺分室（☎ 072-937-1101）	26 日(月)まで	4 日(木)から

施設名	年末	年始
障がい者福祉センターあかみね、小山田・清見台コミュニティセンター、小山田・清見台地域福祉センター、福祉センター錦溪苑	27 日(木)まで	5 日(木)から
図書館	28 日(木)まで ※ 2・3 日の開館は午前 10 時～午後 5 時。4 日まで天誅組の行軍記録「大和日記」を特別公開します。	2 日(木)から
市立テニスコート、市立グラウンド、寺ヶ池公園野球場、武道館、下里人工芝球技場	無休（施設利用の窓口申請は年末は 28 日(木)まで、年始は 4 日(木)から）	
ラプリーホール	29 日(木)まで	4 日(木)から
奥河内くろまろの郷	30 日(金)まで ※農産物直売所は 6 日(金)から。	5 日(木)から
斎場	31 日(土)まで	3 日(木)から



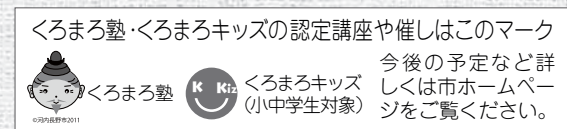
年末年始の業務案内
 ～市役所本庁の業務日は年末が 28 日まで、年始が 4 日から～
 市役所本庁の年末年始の業務日は、年末が 28 日(木)まで、年始は 4 日(木)からです。
 なお、ごみ・し尿、水道などの業務や各施設の年末年始開館日は次のとおりです。
 休業期間中、みなさんには大変ご迷惑をおかけしますが、間違いのないようご注意ください。
 なお、各施設の休館情報は、市ホームページにも掲載しています。

目次 Contents

- 02 年末年始の業務案内
（ごみ・し尿、水道などの業務や各施設の開館日）
- 04 今月の焦点
平成 27 年度決算報告
- 11 情報 PICK UP
・市内のイルミネーション情報
・「みんなで南海体操！奥河内 ver.」ができました
- 12 市政と関連情報 モックル生活ガイド
暮らし 12、安全安心 12、保険・年金 13、障がい者 14、税金 14、高齢者 16・24、子育て 20、健康 21、教育・文化 22、協働 23、パブリックコメント 25、事業所 25、フォト 25、公表 26
- 15 奥河内くろまろの郷通信
- 16 自分キラリいきいきライフ
- 17 シリーズ人権連載
- 18 フォトニュースかわちなかの
- 29 情報プラザ
お知らせ 29、講演・講座 29、展示・催し 31、スポーツ 33、募集 34、相談 35
- 36 かわちなかの ものづくり探訪 ⑭
株式会社 HEAVEN プランニング

●掲載情報の見方

対象に明記のないものは市内在住・在学・在勤者が対象▶
 催しなどで費用の記載のないものは無料▶申し込みが必要な催しなどの持ち物は主催者からの連絡などで確認を▶
 先着順の申し込みで時間の記載のないものは午前 9 時から受付▶
 申し込み・問い合わせなどで住所・電話番号の記載がないものは市役所へ（業務日・時間は月～金曜日午前 9 時～午後 5 時 30 分、祝休日・年末年始を除く）
 ●環境への配慮から、催しなどへの来場はできるだけ公共交通機関のご利用を。

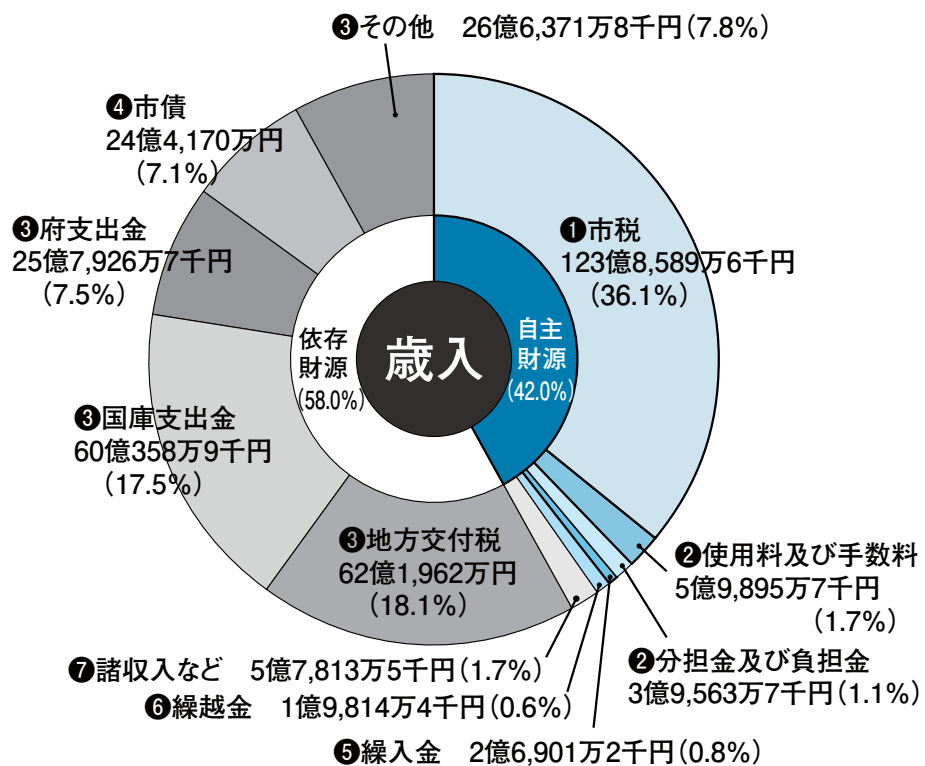


●市の人口世帯数 10 月 31 日現在（カッコ内は前月比）

人口	男	女	世帯数
108,637(+2)	51,532(+8)	57,105(-6)	47,394(+35)

市役所：河内長野市原町一丁目 1 番 1 号
 ※郵送の場合は〒 586-8501（住所不要）
☎ 53-1111（代表）

歳入 343 億 3,367 万 5 千円



平成27年度一般会計の財政状況を家計に例えると、食費や医療費、光熱水費、ローン返済など経常的な支出だけで半分以上を占めています。これらの支出が、給与収入や親からの援助金など経常的に入るお金に対して、どれくらいの割合かを表す指標を「経常収支比率」といい、前年度から7.5ポイント改善し、96.4%となりました。しかし、府内都市平均94.4%を2.0ポイント上回っており、依然として高い水準であることに変わりはありません。日常の必要経費だけで給料の大部分を使い果たし、自由に使えるお金がほとんど残っていない状態です。

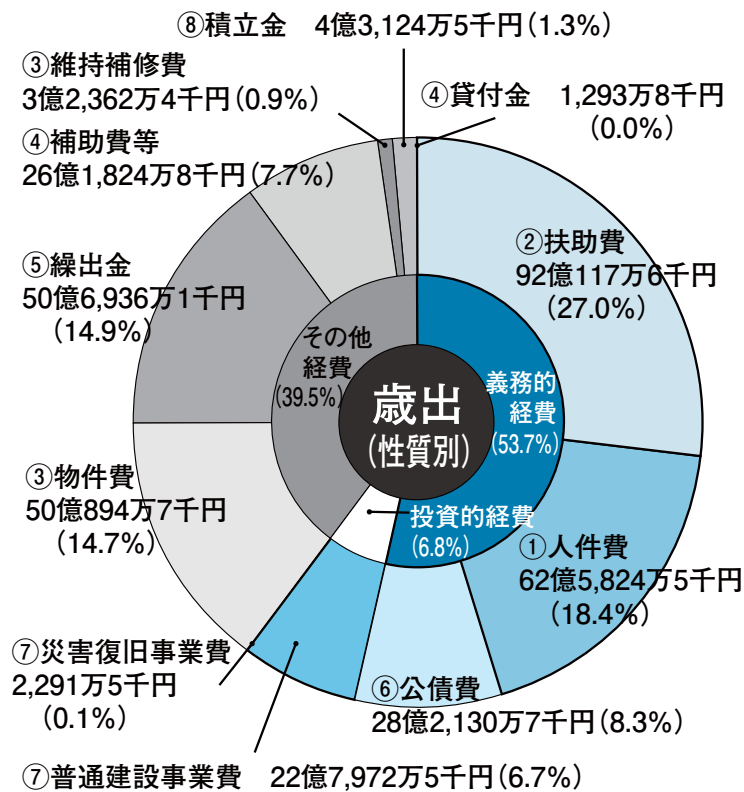
問い合わせ 財政課

平成27年度の決算が9月市議会にて認定されました。一般会計の歳出総額は340億4773万1千円、歳入総額は343億3367万5千円となりました(円グラフ参照)。翌年度へ繰り越す財源を差し引いた実質的な収支は、1億3986万1千円で、黒字決算となりました。ここでは、市民のみなさんの税金などがどのように使われたのか、月収30万円の家庭の家計に例えて説明しながら、市の財政状況についてお知らせします。

河内長野家の家計簿

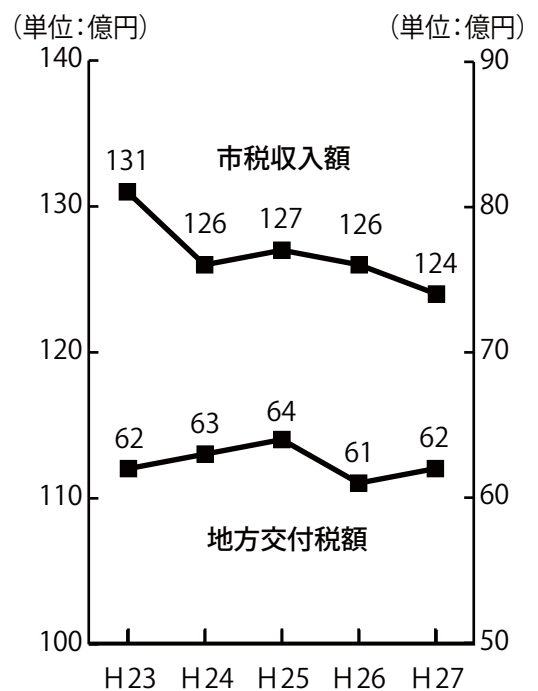
●今月の焦点 平成27年度決算報告

歳出 340 億 4,773 万 1 千円



市税収入額と地方交付税の推移

平成27年度は、26年度に引き続き市税収入額が減少し、税と相関関係にある地方交付税が増加しました。



市税① 市民税や固定資産税など
使用料、手数料など② 施設使用料や住民票交付手数料など
国庫・府支出金など③ 国や府から給付されるお金など
市債④ 金融機関などから借り入れたお金
繰入金⑤ 貯金を取り崩したお金
繰越金⑥ 前年度から繰り越されたお金
諸収入など⑦ 財産の売り払いや寄附金など

月収30万円
としたら

(単位：円)	
収 入	
①給与収入	108,200
②パート収入	8,700
③親からの援助	152,600
④金融機関からの借入	21,300
⑤貯金の取り崩し	2,400
⑥前月からの繰越金	1,700
⑦雑収入	5,100
	A 300,000

余ったお金

$$A - B = 2,400$$

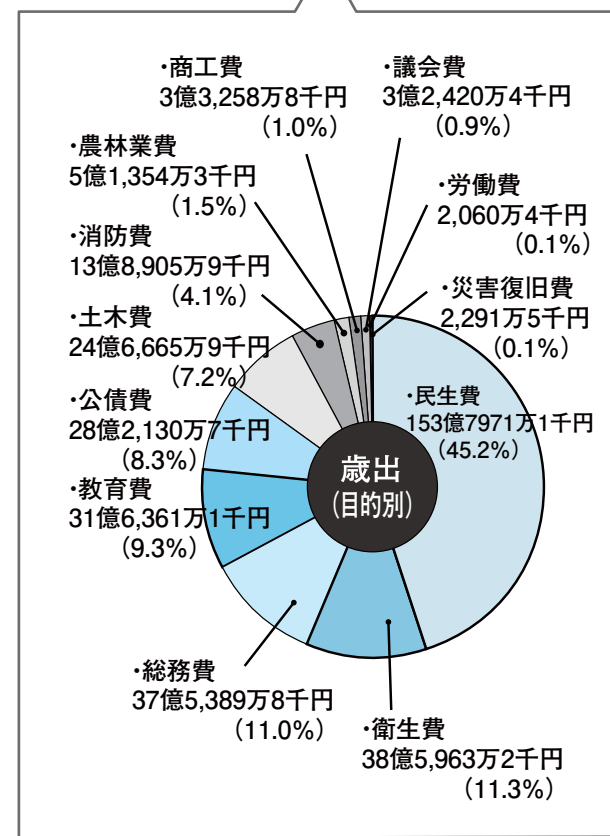
(単位：円)	
支 出	
①食費	54,700
②医療費・教育費	80,400
③光熱水費・日用品・修理	46,600
④自治会・サークルの会費	23,000
⑤子どもへの仕送り	44,300
⑥ローンの返済	24,700
⑦家の増改築	20,100
⑧貯金	3,800
	B 297,600

※貯金残高、ローン残高については、
年収360万円とした場合

貯金残高 951,900

ローン残高 6,682,100

①人件費 職員の給料や議員報酬
②扶助費 生活保護費や児童手当など福祉に使うお金
③物件費など 物品・原材料購入費や修理代など
④補助費など 各種団体に交付する補助金や貸付金
⑤繰出金 特別会計に対して支払うお金
⑥公債費 市債の元金や利子の支払金など
⑦普通建設事業費など 道路や学校などの建設や改修など
⑧積立金 貯金に積み立てるお金



※上記円グラフの番号は家計簿の番号と対比しており、同じ比率で家計簿の数値を算出しています。

平成27年度主要事業

27年度に実施した主要事業を、危機管理、協働、教育などに分けて紹介します。

問い合わせ 政策企画課



AED (写真左) と衛星携帯電話 (写真右)



地域防災訓練を実施しています (写真は昨年の様子)

危機管理

災害対策への取り組み

(679万2千円)

災害発生時に迅速かつ的確に対応できるよう、耐用年数を超えた A E D (自動体外式除細動器) の更新と合わせて、新たに4か所の施設に設置を行いました。また、衛星携帯電話を2台導入し、情報伝達手段を多様化するとともに、生活必需品の備蓄物資の拡充など災害対策を強化しました。

■消防救急無線のデジタル化

(1億9980万円)

消防救急無線のデジタル化を実施し、山間部など、これまでアナログ無線では届かなかった地域が減少しました。また、高機能指令センターと連動し、確実な情報伝達が可能となり、災害への迅速な初動体制が確立しました。

■防犯灯のLED化推進

(2761万1千円)

夜間の防犯を推進し、自治会などの防犯灯管理経費の削減や環境負荷の低減のため、防犯灯のLED化を推進しました。

■防犯カメラの設置補助

(240万円)

地域の防犯活動の支援のため、自治会などが設置する防犯カメラの経費の一部を助成しました。

■地域版ハザードマップの作成

(127万5千円)

地域防災の強化のため、土砂災害警戒区域などが比較的多い流谷地区・石見川地区の住民とともに、地域の危険箇所などを記載した地域版ハザードマップを作成しました。

■自主防災組織の組織化促進

(266万3千円)

地域住民が互いに協力して防災活動を推進できるよう、自主防災組織への助成や活動推進に関する事業を実施しました。

■特別会計・水道事業会計の決算 (単位:千円)

会計名	歳入	歳出
特 別 会 計	31,211,991	30,068,280
国民健康保険事業	16,280,942	15,626,155
土 地 取 得	151,893	151,893
部 落 有 財 産	415	415
下 水 道 事 業	3,765,114	3,470,449
介 護 保 険	9,261,770	9,118,397
後期高齢者医療	1,751,857	1,700,971
水道事業会計	3,267,848	3,533,834
収 益 的 収 支	2,678,418	2,337,239
資 本 的 収 支	589,430	1,196,595

※平成 27 年度の下水道事業特別会計は、平成 28 年 4 月 1 日から下水道事業に地方公営企業法の全部を適用し、地方公営企業会計へ移行したことから、平成 28 年 3 月 31 日をもって「打ち切り決算」を行いました。

■市債・基金の状況 (単位:千円)

種 類	金 額	主な使い道
市 債	63,727,636	
臨時財政対策債等	19,230,947	財源不足への対応など
通常の建設地方債	13,368,590	教育・福祉施設等整備事業債など
下 水 道 事 業 債	26,564,679	下水道事業
水 道 事 業 債	4,563,420	水道事業
基 金	9,078,739	
財 政 調 整 基 金	2,468,485	財源不足への対応
減 債 基 金	410,229	借金の返済
普通建設事業基金	1,466,846	一般建設事業
その他特定目的基金	4,558,394	長寿ふれあい基金など
水 道 事 業 基 金	174,785	用地取得・施設整備など

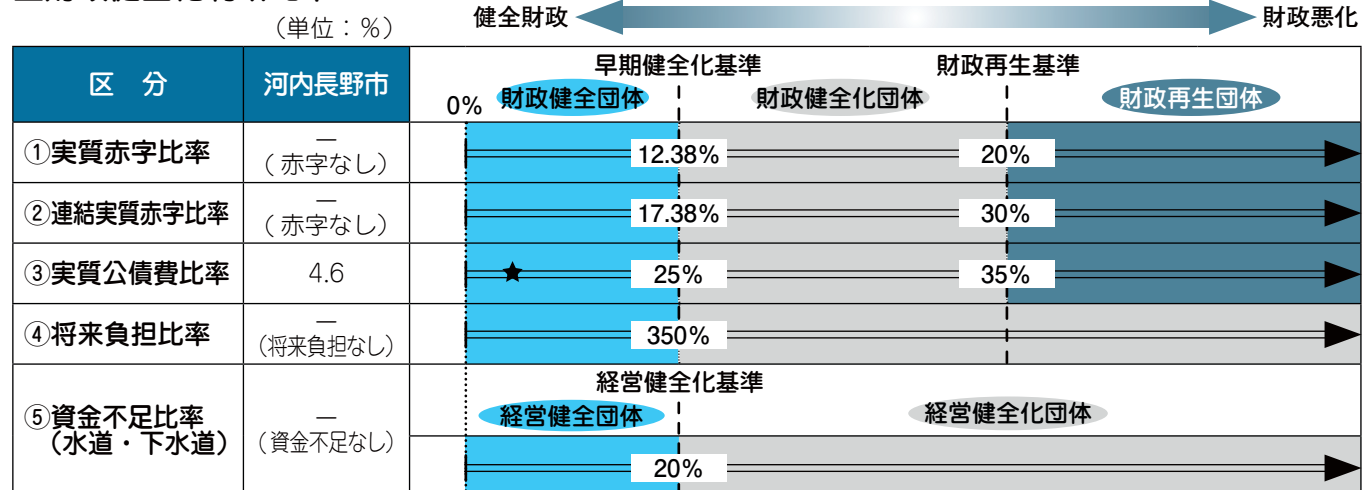
※市民 1 人当たりの市債の額は 584,448 円、基金の額は 83,261 円です。

今後はさらに、人口減少や人口構造の変化などによる市税の減収が予想される一方で、高齢化による社会保障関係経費の増加、公共施設の老朽化対策関係経費の増加が見込まれます。このような厳しい状況の中で、財政収支を踏まえた施策・事業の選択と集中による財政基盤の確立がより一層必要となっています。

そのために、定住・転入の促進や産業振興等により、さらなる歳入の増加に努めます。歳出面では引き続き、効率的・効果的な行政運営に努めるとともに既存施策・事業を見直し、限られた財源の範囲内における選択と集中によって、新たな住民ニーズに対応した施策や事業に組み換えていくことで河内長野市の発展に向けたまちづくりを展開していきます。

なお、一般会計とは別に、特定事業を区別している特別会計と公営企業として設けている水道事業会計の決算および平成 27 年度末の市債・基金の状況は上表のとおりです。一方、財政が健全に運営されているかの指標を表す財政健全化判断比率(下表)では、いずれの指標も早期健全化基準を下回り、現状では健全な運営状態であるとと言えます。

■財政健全化判断比率



●用語解説

- ①実質赤字比率：一般会計などの実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すもの
- ②連結実質赤字比率：全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すもの
- ③実質公債費比率：一般会計などの実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すもの
- ④将来負担比率：一般会計などが抱える実質的な負債の残高が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すもの
- ⑤資金不足比率：各公営企業の資金不足額が、事業の規模に対してどれくらいの割合になるかを示すもの

協働

市民公益活動の活性化

(1212万7千円)

市民による自主的・自発的な社会貢献活動の活性化や、協働の促進を総合的に進める拠点である「るーぷらざ」の運営を行いました。また、市民公益活動への参加の機会づくりや活動の活性化、団体間のネットワークづくりに向け、支援を行いました。

■地域まちづくり協議会の活性化支援(432万5千円)

地域課題の解決やコミュニティの活性化を図るため、自治会・町会を中心に市民や関係団体、事業者などによるネットワーク組織として、市内11小学校区で設置されている「地域まちづくり協議会」の活動の支援を行い、地域の主体的なまちづくりを推進しました。

■第5次総合計画の策定(587万1千円)

長期的なまちづくりを総合的・計画的に進めるための指針として、平成28年度からスタートする第5次総合計画を策定しました。



るーぷらざ主催による
ボランティアフェスティバル
(写真は昨年の様子)

教育



今年開催されたラグビーフェスタの様子

下里運動公園・ 人工芝球技場の整備

(3億5014万円)

スポーツ活動の場の確保やスポーツの普及・振興、高齢者の健康の保持・増進を図るため、平成28年6月に下里運動公園・人工芝球技場と憩いの広場を、7月に管理棟をオープンしました。

■学校施設の耐震化(1億3733万4千円)
義務教育施設の環境向上と、応急避難所としての機能向上のため、校舎の耐震補強工事を実施し、全ての学校施設の耐震化が完了しました。また、地震発生時に窓ガラスの飛散を防止するなどの工事を行いました。

■認定こども園への補助(1億12万6千円)
待機児童の解消などをめざし、市内私立幼稚園が認定こども園へ移行するのに伴い、調理室などの整備や、一時預かり事業などへの補助を行いました。

■国史跡烏帽子形城跡整備(951万6千円)
市の歴史文化の魅力を発信する郷土の歴史学習と憩いの場として、国史跡烏帽子形城跡の整備を進め、標柱の設置、主郭部分の建物礎石の地上表現、樹木の間伐を行いました。

■放課後児童会の充実(1億9390万1千円)
より多くの子どもたちが安心して放課後を過ごせるよう、対象学年を5年生から6年生まで拡大し、新たに6クラスを増設しました。各児童会では、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、適切な遊びと生活の場を提供し、健全な育成を図りました。

■コミュニティスクールの充実(629万7千円)
子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を進めるため、市内各小学校に設置した学校運営協議会の運営を支援し、保護者や地域住民の学校教育活動への参加・参画を進めました。

健康

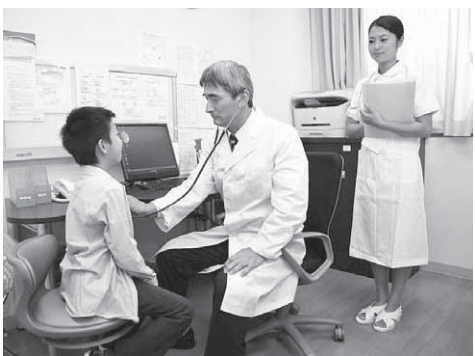
子ども医療費助成の拡充

(2億6020万2千円)

子育て世代の医療費負担を軽減することにより、安心して子どもを産み育てることのできる環境を整えるため、平成27年4月診療分から、子どもの通院医療費の助成対象を小学6年生から中学3年生まで引き上げ、制度の拡充を図りました。

■がん検診の受診率向上(2億4472万5千円)

がんの早期発見と、がん死亡率の低下をめざし、市民を対象に胃・肺・大腸(40歳以上)・乳(40歳以上女性)・子宮(20歳以上女性)のがん検診を実施しました。平成27年



度からは、肺がん検診を個別の医療機関で実施するなど、受診機会の拡大に努めました。

■「南花台スマートエイジング・シティ」団地再生モデル事業の推進(2436万9千円)

開発団地の再生モデルの構築と、南花台地域の周辺開発団地の生活拠点化を目指して、急激に少子高齢化が進む地域のまちづくりを、大阪府や関西大学、UR都市機構等と連携しモデル的に取り組んでいます。

地域のまちづくり拠点として、コノミヤ南花台店2階に「コノミヤテラス」を整備し、地域住民主体の地域包括支援

環境

市営斎場の建替整備

(5億5234万1千円)

建物の老朽化の進行や、近年の葬儀のあり方の多様化などに対応するため、平成27年7月から新市営斎場の建替工事を実施し、平成28年10月に運用を開始しました。

■バイオマスタウンの推進(59万5千円)

再生可能で生物由来の資源であるバイオマスを活用し、環境に優しいまちづくりを進めるため、竹資源を活用した土壌改良材の研究を進め、大学・事業者と共同で特許を出願しました。また、廃食用油を回収し、一部を発電に利用してイベントで活用するなど、ごみの減量や資源の有効活用を推進しました。

■家庭系ごみリユース事業の充実(96万2千円)

現在、取り組みを進めている陶磁器製・ガラス製食器のリユース・リサイクル事業「もったいない市」に



市営斎場の外観(写真左)と内観(写真右)

加えて、家庭で不要となった子ども服などの回収と再利用を目的として、新たに「ぐるぐるマルシェ」を開催し、循環型社会の実現に向け、さらなる3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進するとともに、子育て世帯の支援につなげました。

観光情報の充実と多言語化

(900万円)

日本を訪れる外国人観光客を誘致し、本市の魅力を国内外に広く伝えるため、英語・韓国語・中国語により、観光協会ホームページの内容を充実し、外国語パンフレットを作成しました。また、スマートフォンでの位置情報を活用した観光ナビゲーションアプリ「河内長野さんぽ」を作成しました。

■自然・歴史・文化資源を活かした奥河内観光の推進
(1040万円)

本市がもつ自然・歴史・文化資源などを活かし、観光振興や交流人口の増加、地域の活性化を図るため、「ちかくて、ふかい奥河内」を体感できる取り組みとして、プロモーションビデオやポスターなどを活用し、「奥河内」のイメージを発信しました。

■四季を通じた観光事業の推進(385万2千円)

本市の観光資源を効果的に活用し、観光客の増加を図るため、さくらまつりのPRや文化財のライトアップ、奥河内写真コンクールなどを実施しました。



ウオーキングルートの確認やルート上の観光施設の情報なども見ることができます

経済

企業の立地支援、市内事業者・創業への支援

(1486万7千円)

地域経済の活性化を図るため、市内企業の販路開拓を支援したほか、創業セミナーの開催や研究開発・産業財産権の取得に対して補助を行うなど、企業の積極的な事業展開を支援しました。また、府と連携した融資の限度額を拡大するなど、事業者に対する各種支援策を充実するとともに、本市への誘致活動を行いました。

■地域活性・交流拠点整備
(1億6744万4千円)

「奥河内くろまろの郷」の地産地消レストランと周辺の整備工事が完了し、地域活性化の拠点として、平成27年7月にグランドオープンしました。

また、自転車での来訪を促進するサイクリングマップの作成や、収穫体験ができる農園の整備、奥河内ロゲイニング大会の開催など、河内長野版グリーンツーリズムを推進し、交流人口の増加を図りました。

■マイホーム取得補助
(3860万円)

子育て世代の転入・定住を促進するため、子育て世帯と若年夫婦世帯を対象に、マイホーム取得に対する補助を行いました。

■都市ブランドの構築と魅力発信
(101万9千円)

市民や学生などが参加するワークショップなどを開催し、本市の魅力やその発信などについて検討を進め、まちのプロモーション推進につなげました。

■中心市街地の活性化(350万円)

情報 PICK UP

冬の夜を彩る光
市内のイルミネーション情報

■奥河内イルミネーション

動物たちが集合する「イルミネーションZOO」や真田十勇士も登場します。

とき 12月1日(木)～3月5日(日)午後5時30分～9時30分

ところ 府立花の文化園

入場料 中学生以上11000円、小学生以下5000円(3歳未満は無料)

※入場にはチケットが必要▽購入は現地のほか、イルミネーション事務局ホームページ(illuminategroup.com)、チケットぴあ、ローソンチケット、セブンチケットで。

問い合わせ イルミネーション事務局

(☎06・6452・6452)

■ラブリールクリスマスイルミネーション

宇宙・天体をイメージした装飾を行います。

とき 12月1日(木)～26日(月)午後5時～11時

※26日(月)に小ホールで「モバイルプラネタリウム投影会(有料)」を開催します。

問い合わせ ラブリールホール(☎56・6100)

■寺ヶ池公園クリスマスイルミネーション&パーティー

とき 12月1日(木)～25日(日)午後5時～9時(21日を除く)

※10日(土)・17日(土)にイルミネーショントレインを開催(時間はいずれも5時～▽乗車賃200円)▽期間中のイベント内容など詳しくは協会ホームページをご覧ください。

問い合わせ (公財)公園緑化協会

(☎56・1155)

「みんなで
南海体操！」
奥河内ver.
が
できました

「南海体操」とは

南海電気鉄道(株)が平成27年度から29年度までの3か年で展開中のブランドイメージ向上プロモーションの一環として実施しているCMソング。「南海体操」踊ってみました。」として、様々なグループのダンスがYouTubeにアップされています。

愛が、多すぎる。

検索

市の観光PRと認知度の向上を目指して、南海電鉄と協力して、「南海体操」を素材とした映像を作成しました。

各観光施設ではその施設のスタッフなどが出演しており、市内の観光スポットで多数の協力により、撮影が行われました。映像は、YouTubeにアップされています。ぜひご覧ください。

問い合わせ 産業観光課



暮らし

マイナンバーカード交付の日曜臨時窓口を開設します

マイナンバーカード（個人番号カード）交付の日曜臨時窓口を開設します。平日の受け取りが難しい人はぜひご利用ください。

とき 12月25日(日)午前9時～午後1時

受取方法 交付通知書（はがき）に記載された書類を持って市役所へ

※詳しくは通知カード送付時の案内や、ホームページ（マイナンバーカード総合サイト）で検索をご覧ください。

問い合わせ 市民窓口課

ライトダウンキャンペーン

市では、地球温暖化防止に向けた取り組みの一つとして、次の日時に一斉に電気を消すライトダウンキャンペーンを実施します。みなさんの家庭や事業所でも電気を消して、地球環境のために何ができるか。

きるかを考えてみませんか。対象 本キャンペーンの趣旨に賛同いただいた事業所、個人の自宅、公共施設などとき 12月21日(水)午後8時～9時

※通行に支障のある場所などは消灯しません。

問い合わせ 環境政策課

水道管などの凍結を防止しましょう

これからの時期、気温が氷点下になると、屋外の水道管や蛇口、マンションの受水施設などで水が凍結したり、管が破裂したりすることがあります。これらを防ぐため、早めに防寒対策をしてください。

防寒の方法

屋外の水道管や蛇口には保温材（ホームセンターなどで市販▽毛布や布でも可）を巻き、ぬれないようにビニールテープやビニール袋などをかぶせる。

凍結して水が出ない時

凍結した部分にタオルをかぶせて、ぬるま湯をゆっくりとかける。

※破裂する恐れがあるので熱

湯は絶対にかけないでください。

凍結して破損した時

止水栓を閉めて水を止め、水道料金センター（市役所内、☎53・6621）に連絡してください。

問い合わせ 水道課

安全安心

歳末特別警戒を実施

消防署では、火災や災害を未然に防ぐため、消防車両による火災予防広報などの歳末特別警戒を実施します。みなさんのご協力をお願いします。

期間 12月1日(木)～31日(土) 問い合わせ 消防署 (☎53・5681)

特殊詐欺にご注意を

市内で還付金詐欺やオレオレ詐欺などの被害が多発しています。

■ATMで還付金はすべて詐欺 市役所の職員を騙った犯人

は自宅であっても必ず施錠し、車内に貴重品を残さないようにしましょう。

問い合わせ 危機管理課

保険・年金

国民健康保険の日曜臨時窓口を開設

■平日お忙しい人はご利用をとき 12月18日(日)午前9時～午後5時30分

ところ 保険年金課

内容 国保の届け出や保険料の納付、納付相談など

※必要書類などは問い合わせを。

問い合わせ 保険年金課

年金相談

日本年金機構が国民年金や厚生年金などの相談に応じます。ただし、正確な支給予定額などは計算できません。

とき 12月13日(火)午前9時30

分～正午と午後1時～3時30分▽3月14日(火)にも実施予定

ところ 市役所

持ち物 年金手帳、年金証書、年金定期便、職歴の分かる書類

※当日直接会場へ。 問い合わせ 保険年金課

もしもの時に備えて

■秋季全国火災予防運動 消防合同訓練を実施

10月26日、障がい福祉センターあかみね（小山田町）で秋季全国火災予防運動に伴う消防合同訓練が河内長野青年会議所理事長の大西慶典さんを一日消防署長に迎え、実施されました。訓練には、同センター職員や消防署員、消防団員など約100人が参加。はしご車による救出や応急処置の訓練などが行われ、参加した人たちは、防火意



識を新たにしていました。

■近大病院ドクターカーと合同訓練を実施

消防本部は11月11日に、近大救命救急センタードクターカーとの合同訓練を実施しました。救急活動の円滑化と救命率の向上を図るため、消防隊員ら33人と医師・看護師ら5人が参加し、ドクターカー出動要請時の連携訓練や、症例検討会などを行いました。



～国民健康保険に加入している40歳以上の人へ～ 特定健康診査（無料）の集団検診を実施します！

特定健診は取扱い医療機関で個々に受診することができますが、より多くの人に受診していただくため、市役所別館で集団検診を実施します。

■当日はがん検診（有料）も併せて受診できます

対象 市国民健康保険に加入している40歳（今年度中に40歳になる人を含む）～74歳の人 ※今年度に取り扱医療機関で個別に特定健診または人間ドックを受診した人や、受診する予定の人は

受けることができません。

とき 3月5日(日)午前8時30分～11時30分

ところ 市役所別館

定員 100人（先着順）

申し込み 保険証と特定健診受診券を用意して電話で保険年金課へ

※がん検診の詳細は保健センターに問い合わせを。

問い合わせ 保険年金課



障がい者

ピアセンター
かわちながのの催し

■ピアサロン「クッキング&交流会」料理しながら情報交換

対象 市内在住の肢体障がい者

とき 12月21日(木)正午～午後2時

ところ 障がい者福祉センターあかみね

定員 10人(先着順)

参加費 300円

申し込み 12月5日～14日に

ピアセンターかわちながのへ問い合わせ ピアセンターかわちながの(☎56・1690、

1590、FAX 56・1592)

障がい者福祉センター
あかみねの催し

①電車で行こう！京都鉄道博物館

対象 市内在住の障がい者手帳所持者とその介護者▽ペアで参加を

とき 12月16日(金)午前8時15

分～午後6時▽集合は河内長野駅改札前

定員 5組(抽選)

※交通費、食費、入館料などの実費が必要。

②スポンジテニス「バンダくらぶ」

対象 市内在住の障がい者とその支援者▽ペアで参加を

とき 毎月第2・4土曜日の午前9時30分～11時30分

ところ 南花台小学校

※入会費3000円、年会費1000円が必要▽見学・体験希望の人は同センターまで。

①②の申し込み ①は12月8日、②は3月31日までに同セ

ンターへ

問い合わせ 障がい者福祉センターあかみね(☎56・1590、FAX 56・1592)

大阪ろうあ者成人式

対象 平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれの府内在住のろうあ者とその家族

とき 1月8日(月)午後1時～4時

ところ 谷町福祉センター(大阪市中央区)

申し込み 電話かファクス

(住所、氏名、生年月日、ファクス番号を記入)で大阪聴力障害者協会事務局へ▽当日参加可

問い合わせ 同事務局(☎06・676611394、FAX 06・67663833)

精神障がい者家族教室

訪問看護をテーマに看護師がお話しします。

とき 12月15日(木)午後2時～4時

ところ 富田林保健所

定員 20人(先着順)

申し込み 12月9日までに同

所へ

問い合わせ 富田林保健所地域保健課(☎23・2684)

大阪障害者職業能力開発校の在校生を募集します

大阪障害者職業能力開発校は、障がい者の特性を理解し、個々に必要な訓練を身につける障がい者のための訓練施設です。CAD技術科、Webデザイン科、OAビジネス科、オフィス実践科、ワークサー

ビス科の平成29年4月入校生

12月28日までに納付を

■固定資産税・都市計画税第4期分

まだ納付していない人は、最寄りの金融機関や郵便局、夜間・休日でも取り扱うコンビニエンスストア(納付額30万円まで)などで納付してください。手数料は不要です。また、安心・簡単・確実な口座振替もご利用ください。

問い合わせ 税務課納税係

従業員の住民税は特別徴収で納めましょう

事業主は、原則として従業員の個人住民税を給与から引き去り、納入いただくこと(特別徴収)が法律により義務付けられています。府と府内全43市町村は、平成30年度から個人住民税の特別徴収を徹底します。詳しくは府ホームページ(<http://www.pref.osaka.lg.jp/zei/alacarte/>)をご覧ください。

問い合わせ 税務課市民税係

税金

税金は滞納せず正しく納めましょう

■税収確保重点月間

府では、12月を税収確保重点月間と定め、市町村と連携し、滞納者に対する徹底した催告や財産の差し押さえなどを行い、納期内に納税された人との税の公平性を確保します。

問い合わせ 府南河内府税事務所(☎25・1131)

奥河内
くろまろの郷
Kuromaro Village
通信

VOLUME 10

第2回
奥河内
ロゲイニング大会

11月13日に第2回奥河内ロゲイニング大会が開催されました。3時間と5時間コースに合わせて102組338人が参加。ロゲイニングは地図をもとに時間内にチェックポイントを回って得点を競うスポーツで、くろまろの郷を出発地点として、ポイント地点を目指します。スタートの合図とともに一斉に飛び出した参加者らは街中のお寺や公園など、ゆつくりと回る組のほか、紀見峠や四季彩館など高得点を狙う組など様々。写真を撮る姿からも参加者がとても楽しんでることが伝わりました。

くろまろファーム
収穫体験

くろまろの郷に隣接する農地「くろまろファーム」で11月7日、高岡保育園と汐の宮保育園の園児たち約70人がさつま芋の収穫体験に参加しました。さつま芋が土から少し見えると、体全体を使って力強く引っ張り、収穫できると、満面の笑みと大きな声で先生に報告。収穫したさつま芋を袋いっぱい持ち帰り、自然の中で楽しい時間を過ごしました。



自分キラリ いきいき ライフ

4

世代を超えて 共に学ぶ

「この辺は旧村で、若い人があんまりいないんですよ」「この地域は車が少なく、公園もあるし子育てしやすいよ」

市では「高齢者がいきいきと暮らす笑顔と活力のあふれるまち」の実現のため、4つの基本方針を定めています。今回は、そのうちの一つ、「生涯を通じて学習や交流の機会づくり」について紹介します。

問い合わせ いきいき高齢・福祉課

いくつになっても 学ぶ楽しさを

生涯を通じて学ぶ楽しさを持ち続けられるよう、市では様々な学習の機会を提供し、学びを通じて自己の充実と新たな仲間づくりを支援しています。また、仲間との集いを通じてより広く地域とふれあい、ぬくもりを感じられるまちを目指します。

△案の発表会をキックスで行います。ぜひご参加ください。

「学び」から始まる 新しい世界

高齢化が進む本市ですが、別の視点で見れば長寿化と言え換えることができます。シニア世代が1つのキャリアを終えてからも、新たな挑戦をすることが可能となってきました。これまで気付かなかった新しい世界や自分を発見し、自分らしい豊かな生活を送るために「学び」を始めてみませんか。

学びの場、出会いの場、 くろまる塾



▲若い世代と触れあう機会もあるくろまる塾（写真は大学連携講座の様子）

くろまる塾は平成23年6月に開校した市民大学で、市内在住

くろまる塾本部講座 大学連携講座 ～大阪千代田短期大学編～

■地域の課題解決 プログラム案の発表

- ▶とき 1月15日(日)午後1時30分～4時30分
- ▶ところ キックス ▶定員 100人(先着順)
- ▶申し込み 12月6日から電話でくろまる塾事務局へ ▶キックスホームページでも申し込み可



いきいき介護教室

歌とキャンドルサービスで、クリスマスをお祝いしましょう。交流会も行います。

対象 家族の介護をしている市内在住者

とき 12月21日(水)午後1時30分～3時30分

ところ 休日急病診療所

申し込み・問い合わせ 東部地域包括支援センター(☎52・0180)

すこやか体操教室

対象 65歳以上の市民

とき・内容 ①12月20日(火) 膝痛予防の講話と膝楽体操、

②1月27日(金) 健康長寿のための食事の講話と体操▽時間はいつでも午前9時45分～11時45分

ところ キックス

定員 50人(先着順)

①②の申し込み 12月5日から電話でいきいき高齢・福祉課へ

問い合わせ いきいき高齢・福祉課

http://kics.jp

シリーズ人権 連載

花も美しい 月も美しい それに 気づくころ が美しい

KAORU KUSUNOKI
楠木 薫

第16回 満ち足りていて 気付かない

師走に入って、大学時代の運動部の同期で集まる機会がありました。37年前、大学を巣立った頃はみんな若く、元気でした。そのメンバーで今集まると、わたしは人間ドックの検査で要精検です。当時のキャプテンは持病を、庶務のNさんは視覚の病気を抱えていました。リユウマチ、成人病、還暦の頃に出る病気のオンパレードです。話題は若い頃の話から現在の暮らし、病気で尽きることなく続きました。

師走に入って、大学時代の運動部の同期で集まる機会がありました。道行く若い人たちの中をゆっくり歩きます。駅の近いところまで来ると階段もありました。道行く人はみんな急いでいて、なかなか道をあけてくれません。わたしも歳をとり、気長にNさんを改札近くまで誘導しました。

実は、わたしも18年ほど前、業務中に高い塀から飛び降り、膝の半月板を壊しています。その折、1か月ほどギプスを巻いて松葉杖で生活しました。とにかく内心いやになったのは建物や道の段差で

12月4日～10日は 人権週間

国では、12月4日～10日を「人権週間」とし、全国的な啓発活動に取り組んでいます。21世紀は「人権の世紀」とも言われます。市民のみならず、身近なところから人権について考えてみませんか。また、「人権週間」にちなんで展示を12月15日まで市役所で行います。

問い合わせ 人権推進課

した。職場の階段を上り下りすること、家の階段、近所のお店へ行く歩道橋、それがどれほど面倒で、外出を億劫にさせるものか、その時身をもって知りました。

満ち足りている時気付かないことも、月が欠けるように、何かが制約されて、初めて気づくことがあるのです。視覚に障がいのある方が言っておられた一言が思い出されます。「もし自分だったら、それを想像してください」と。「住みよい街づくり」とは、きっと人を思いやる心と心が、幾重にもつながる街をつくることだと思います。

歴史と文化を楽しむ

高野街道まつり

河内長野駅前から三日市町駅前までの高野街道を中心に10月23日、高野街道まつりが行われ、約4万人が集まりました。この日は、河内長野駅周辺ではフリーマーケットなどが、三日市町駅前では日野獅子舞など、高野街道では約4000人が参加したスタンプラリーが催されました。来場した人たちは、高野街道沿いに残る歴史や文化遺産を感じながらステージやイベントを楽しみました。



①ステージでは市観光協会50周年を記念してご当地キャラクターが大集合 ②高野街道は多くの人で賑わいました



パパやじいじも読みメンに

読みメン応援！父と子のえほんのひろば

図書館で10月30日、あいつくで11月6日に「読みメン応援！父と子のえほんのひろば」が開催されました。図書館では読みメンの先輩が絵本の読み方のテクニックなどを紹介し、あいつくでは市内在住の絵本作家のきたあいらさんとお話しされ、参加した親子らは新たな絵本の世界観を広げていました。

このイベントは12月4日・11日にあいつくで、18日に図書館でも行います。申し込みや問い合わせなど、詳しくはあいつく（☎50-4664）まで。



①給水車からの給水体験 ②的に向かって消火器を吹き付けます ③AEDを使った応急措置訓練 ④いかに速く正確にけが人を担架で運べるかタイムを競いました ⑤天ぷら火災の消火訓練

地域みんなで万全な備えを

地域防災総合訓練

地域防災総合訓練が11月6日、赤峰市民広場であり、自主防災組織や関係機関など約1100人が参加しました。

訓練は巨大地震が発生したとの想定で実施。初期消火や救出・救助、応急処置のほか、搬送、バケツリレーなどの訓練が行われました。また、会場にはロープの結索や給水体験、地震体験車などの体験コーナーも設けられ、来場した人たちは防災・減災への意識を高めていました。

「鉄道の裏側」大公開！

南海電車まつり

10月29日、南海電鉄千代田工場で南海電車まつりが開催されました。当日は、子ども車掌体験、電車と綱引きなどが行われ、参加した子どもたちは興奮した様子で楽しんでいました。また、ラピートの車内見学会、工場内見学なども催され、車両吊り下げ実演では大きな歓声があがるなど、来場した人たちは普段は見ることのできない工場の様子を楽しんでいました。また、モックルもステージイベントに参加し、○×クイズなどで市の観光PRを行いました。

レスリングで金メダル

全国少年少女レスリング選手権大会優勝

平成28年度大阪府レスリング総合大会で優勝、第33回全国少年少女レスリング選手権大会に出場し、女子の部5年生30kg級で優勝した東萌さん（美加の台小5年）が10月14日、市役所で島田市長と和田教育長に結果を報告しました。

2人の兄と週末に吹田へ練習に通っている東さんに市長は「今後の活躍も期待しています」と激励の言葉を贈りました。



まちの話題をお届けします